

益田市地域公共交通活性化協議会

平成21年3月16日設置
平成22年3月16日連携計画策定



概要

益田市では、「住民との協働による利便性と効率性を兼ね備えた持続可能な生活交通の構築」を基本方針に掲げ、今年度、周辺部の交通体系を充実させるためワークショップを開催し、地域のニーズに合った運行が出来るよう検討し、その中の事業としてコミュニティバスを購入することとしている。また、益田型ゾーンバスシステムの構築に必要な交通結節点の環境整備についても実施することとしている。

○種線再編における検討とコミュニティバスの購入

・住民が主体となって運行協議会を立ち上げ、住民主導での交通体系を創り上げ、来年度の実証運行に向けて検討することとしている。それに基づき、需要に応じたコミュニティバスを購入することとしている。

○交通結節点の環境整備

・益田型ゾーンバスシステムを実現するためには、交通結節点の環境整備は必須である。また、市街地におけるバス路線の再編及び周辺部の地域内交通と4条路線の接続の強化についても、結節点の整備は必要となってくる。そうしたことも踏まえ、今年度交通結節点の環境整備を行うこととしている。

○地域内交通の再編及び市街地線の再編の検討

・真砂地域、美都地域においては、地域住民と協働して将来像を検討していく。
・地域内交通の再編については、現在運行している生活バス等の充実を図り、地域内移動の利便性を向上させるための検討を行う。
・地域の自主性を尊重した住民主体の新たな交通検討体制を構築する。
・4条路線バスの益田駅～医光寺間の運行便数の調整、及び市内線の充実を図るための検討を行う。(交通事業者との協議)

